

大徳寺之宿屋地

台左七郎様

きり

ちり地所今新居より、後程
不吉なりと云々、おそれるまう、お松
へも知らせ玉ふ事、一安心、一
お松さう

此より音便の心、願

しんをうらむるゑ、お松

の光部、お松、お松

お松、お松、お松

お松、お松、お松

[illegible]

るに極く不意に
おどろく事なれ
る余の肩に下りて
きつてある

口月五十一

長生堂

長生堂

長生堂中書

長生堂

口月五十一